

大学院教育学研究科

所 属 ・ 職 位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授	
氏 名	廣田 秀俊（Hirota Hidetoshi）	
取 得 学 位	学士（教育学），大阪教育大学，1992 年 3 月	
S D G s 目 標		

研 究 分 野	学習指導，学校経営	
研究キーワード	個別最適な学習（児童・教職員）	
研 究 内 容	○学校経営構想の継続 ・次年度の構想を踏まえつつ，学校経営を行う。現状維持は後退と考え，教育界の動向を踏まえ，挑戦心を持って具体的な改善を図っていく。 ・何かを始める際に何かをやめる「スクラップ&ビルド」を徹底。やめるものは何かの見極めを行い，本校の働き方改革「スクラップ&スリム」の実践を行う。 ・課題，改善の継承のための資料作成を行うとともに，教職員の状況，継続している課題，保護者との関係等の整理をし，メンバーが入れ替わりながらも継続できる教育活動の改善を図っていく。 ○地域教育貢献のための人材育成 ・「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成，研修を見据え，個別最適な学び，協働的な学びの充実を通して，「主体的，対話的で深い学び」を実現することは，児童生徒の学びにのみならず，教師の学びに求められるものとして実践する。 ・「日々の業務を学びにする」ことを念頭に，今日の課題を明日解決するという学びのサイクルを完成していくことを通して，学び続ける教師を育成していく。 ・人が育つための環境を整え，組織の誰もが「学びたい」という意識を持って学び合う集団を目指し，「教師の協働的な学び」，「心理的安全性」を重視し，学び合うことを常態化できる教師集団の形成を行う。 ○学校種連携の重視 ・学校段階の移行をスムーズに乗り越えるための環境整備を行う。心の機能維持のための「基本的心理欲求」を見定め，適切な支援を行える環境を整えていく。 ・連携，接続の取組を一人ひとりの成長を目的として行い，「安心・自己発揮・成長・自立」など，連携，接続を人生のなかにある様々な節目，環境の変化において重要視し，子どもたちの姿や社会の動きを捉えながら柔軟に展開していく。	
研 究 業 績 ・ アピールポイント	○附属小ビジョンをもとにした学校教育目標実現のための実践。 ○授業実践を中心にした組織的な校内研究を通した，主体的・対話的で深い学びの実践。 ○附属四校園による学校種連携の充実。	